



# 年度末号 ちいさいクラス ともえんだより

令和4年 3月25日(金)

フレンド認定こども園

三寒四温の言葉通り、寒い日と暖かい日が交互にやってきて、春はもう目の前まで来ています。

21日には、年長さんが立派な姿で卒園していきました。

今年度も昨年に続き、コロナ感染症の影響で行事の縮小、変更、中止等、保護者の皆様にはたくさんのご迷惑をおかけしました。でも、そのたびにご協力、ご理解をいただき、本当に感謝しております。お陰様で子どもたちは、コロナとは無縁であるかのように伸び伸びと笑顔で過ごしていました。そしてその笑顔で私たちがたくさんのお元気をいただきました。来年度は予定している行事がどの程度できるのかわかりませんが、できないことを嘆くのではなく、何ができるのかを考えて、日々の生活を大切に過ごしていきたいと思えます。

至らない点がたくさんあったかと思いますが、1年間どうもありがとうございました。

ひよこ組さん…4月からりす組さんですね。6人の新しいお友達が仲間入ります。よろしくね！

りす組さん…4月からうさぎ組さんですね。今のまま好きなことを好きなだけ楽しんでね！

うさぎ組さん…4月から年少さんですね。世界が広がっていろんなことを楽しんでね。

1年を振り返って ひよこ組

早いもので、ひよこ組からりす組へ進級する時期がやってきました。6名の子どもたち一人ひとりの成長を振り返ると、胸が温かくなるような感動がこみ上げてきます。入園当初は、おうちの方と初めて長い時間離れる子もいましたね。子どもたちも保護者の皆様も不安だったことと思います。泣いていた子も少しずつ保育者に慣れてくれ、抱っこされると安心した笑顔を見せてくれるようになりました。今では6名のお友達と、まるできょうだいのように愛着ある関わりを見せてくれています。お昼寝前の時間は修学旅行のような盛り上がりで、お布団へゴロゴロしながら顔を見合わせて大はしゃぎしたり、2つしかないラックにだれが寝るか？時に取り合いで泣いてしまったり…

最後には抱っこされ、甘えながらスヤスヤと眠る姿は何とも愛おしく、私たち保育者はその寝顔に癒され、幸せをいただいています。

この時期の心と体の成長はめざましく、一人座りから這って進み、立ち、歩き、今では自分の好きな遊びを見つけて快、不快の自己主張もはっきりと出来るようになりました。戸外ではそれぞれ、活発に体を動かして遊んでいます。

大きいクラスのお友達から「かわいいね」と優しくしてもらい、時に追いかけてこに参加する子もいます。ひよこ組の世界から少しずつ、いろいろな人との触れ合いを通して子どもたちの世界が広がっていくのを感じます。

子どもたちが園で安心して楽しく過ごせたのも毎日お家の方の愛情をたくさん受け「楽しんでおいで」と優しい言葉で大切なお子様を預けて下さったからと心より感謝申し上げます。

いつも温かいご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

これからも6名の子どもたちの健やかな成長を願い、見守らせていただきたいと思います。

1年間どうもありがとうございました。

(担任)



## 《お知らせ》

ちいさいクラスで保育補助に任じていただいていた  
令和3年3月をもちまして退職いたしました。

の保育教諭3名が



一年を振り返って りす組

思い起こせば4月…ひよこ組からの進級児5人と新入児4人、合計9人でスタート

したりす組。進級児はクラスは変わったけれども、安定した姿で遊ぶ姿に適応力の高さと生きる力を感じました。新入児は、涙・涙で不安いっぱいの中でお家の方を待つ日々…でも少しずつ園での生活に慣れてきました。自分の好きな場所を自分で探して、安心してその場で遊べるようになると、楽しさを誰かと共有したくなったり、真似をしたくなったり…6月・8月にはお友だちも増え12人となりました。おやつの中には、お誕生表の写真をしながら「〇〇君いないね」とお休みの子に気が付いたり…給食の時間は一人がコップのお茶をテーブルにこぼすと、次々に真似をしてジャーとこぼし、テーブルがお茶でびしょびしょ！さらに両手でびしゃびしゃ！テーブルは大洪水。また「お外に遊びに行こう！」と声をかけると我先にとお散歩カーに乗り込んでいたのが、自分の足で階段を下りていきたい子、お部屋で遊びたい子と自己主張がたくさん現れてきました。今では、お散歩カーの出番もなくなり、いつの間にかロディちゃん置き場になってしまってます。言葉もどんどん増えて、最近の皆の口癖は『やだー！』の大合唱。「おやつにしよう』『やだー！』『オムツとりかえよう』『やだー！』とどこかで『やだー！』が聞こえます。でも、どんな時でも自分の思いを表現できる子どもたちから、私たちはたくさんのことを学ばせていただきました。思いを受け止める、気持ちを分かってあげるといこと繰り返して、一人一人に思いを寄せていくことの大切さ、子どもを信じる気持ちがさらに強くなっていった1年でした。これも、保護者の皆様が大切なお子様を私たちに託して下さいのおかげだと感謝しております。至らない点もあったと思います。ご心配もおかけしたと思います。でも、毎日、保護者の皆とお話しさせていただく事が楽しく、成長と一緒に喜ぶことができ幸せな毎日でした。

1年間どうもありがとうございました。

( 担 任 )



一年を振り返って うさぎ組

うさぎぐみの生活も残すところあと数日となりました。もうすぐ大きいクラスへ進級ですね。

4月うさぎぐみがスタートしたときには、あちこちでおもちゃの取り合いがおきたり、「お散歩にいかないー!!」「お友達と手をつながないー!!」と散歩になかなか出発できなかったり、「このお洋服はいやだ!」「トイレは行かないー!」などなど。毎日12人の子どもたちそれぞれが自分の気持ちを一杯表現していました。今でももちろん同じようなことは起きますが、いつの間にか『やってみようかな』『貸してあげようかな』『どうぞ』『いいよ』なんて気持ちが出てきて切り替えられるようになってきています。友達同士で『こうするといいんじゃない?』と教えてくれることも出てきています。最近では保育者が「こんなときはどうしたらいいのかな?」と投げかけたことに、子ども達なりの「じゅんばんこでつかうといい!」「ぶつかってあぶないよ」などと教えてくれたりもします。毎日の色々な経験が、子どもたちの気持ちを育ててくれていることをとても嬉しく思います。

2歳から3歳になったこの時期、いやいや!!がたくさんあってお家の方も悩んだり、苦労したことがあったのではないのでしょうか。でもこの自己主張がちゃんと気持ちを育ててくれていると思うと成長を感じますよね。

心も体もぐんぐん大きくなっている子ども達ですが、まだ3歳です。まだまだお父さん、お母さんの抱っこやおんぶが大好きです。私の中学生になる娘もちょっと元気がないとき、気持ちが疲れているとき「ギュってして」と言うことがあります。こんなに大きくなって?と思うかもしれませんが、そこでギュッと抱きしめることでパワー充電。また外で頑張ってるんだと思って抱きしめてあげています。

うさぎぐみのみんなもだんだん重くなって大変ですが、お家の方のぬくもりが何より子ども達のパワーになります。これからもいっぱい抱きしめてあげてくださいね。

個性豊かで元気いっぱいのうさぎぐみの子ども達と過ごした1年、かわいい笑顔から幸せをたくさんもらい、おもわず笑ったり、一緒におしゃべりしたり、走り回ったり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

保護者の皆様、いつも温かく見守ってくださり、たくさんのご協力をいただき本当にありがとうございました。制服を着て、お兄さん、お姉さんになっていくみんなの成長をこれからも楽しみにしています。( 担 任 )